

さんらいずにゆうす

2024年7月18日

7月号

日出学園小学校

校長 荻原 巖

学校だより



校長 荻原 巖

梅雨入りが遅かった1学期も終わりますが、子どもたちは暑さに負けず元気いっぱい学校生活を送っています。運動会や宿泊行事等の行事も無事終えることができました。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、今の世の中コンピューターを活用すれば、様々なことが簡単に調べられ、とても便利な時代になりました。子どもたちも図書館の本や図鑑だけでなく、インターネットで検索して資料やデータを取り出し、レポートを仕上げることができます。ICT時代の子どもたち、素晴らしいと思います。ところで、パソコンの得意な子どもたちも次の3通りに分けられます。

- ① 発表の段階になると、自分の作成した報告書が読めません。写しただけなので、難しい漢字や言葉の意味が分からないのです。自分のものになっていないのです。
- ② とても分かりやすく発表でき、質問にはてきぱきと答えられますが、例を紹介できません。バーチャルの世界の理解で止まっているのです。
- ③ 自分で体験したことを例に出して分かりやすく発表できます。質問されると「例えば…こういうことです。」と、答えることができます。

学校では③のような子どもの育成を目指して授業を進めています。「自分でやったこと、体験したこと」と「本で調べたことやICTを駆使して調べたこと」とを連動させ、「自分で考え、判断し、理解できる」ようにしたいと考えています。

これから始まる夏休みは、学年によって過ごし方が変わるとは思いますが、普段体験できないことに取り組む良い機会でもありますので計画的を立ててみてください。

厳しい暑さが予想されますが、熱中症や事故に気を付けお過ごし下さい。



子どもたちが待ちに待った夏休みがやってきます。「学校」から離れ、普段できないことを家族や友達と存分に楽しむ時間もできます。しかしその分、生活リズムが変化し行動範囲も広がります。予期せぬことに遭遇したり巻き込まれたりするなど危険も大きくなります。

- ・ 早寝、早起き、朝ごはんをしっかり食べるなど、規則正しい生活をする。
- ・ 水分をこまめにとり、熱中症にならぬように気をつける。
- ・ これまで通り、手洗い、手指消毒、必要に応じてマスクを着用するなど感染症対策を忘れないように気をつける。
- ・ 外出するときは、目的、行き先、同行者、予定帰宅時間の確認をする。
- ・ 繁華街、映画館、デパート、プール、ゲームセンターなどへは子どもだけで行かないようにする。
- ・ 水辺など危険な場所には立ち入らないようにする。
- ・ 不審者、痴漢、誘拐などから身を守るために、できるだけ一人で外出しない。
- ・ 自転車の乗り方に気をつける。(二人乗りをしない。横断歩道は押して渡る。など)
- ・ 花火は子どもだけではしない。
- ・ スマホやタブレットの使い方のルールを確認する。

ご家庭においても休み中の過ごし方について、細かなところまできまりの確認や徹底をお願いします。また、遠出の旅行や帰省などをする際、公共交通機関でのルールやマナーを守り、その場にあった行動がとれるよう、ご家庭で話す機会をもっていただきたいと思います。

保護者パトロールのご協力ありがとうございました！

保護者の皆様には、日々お忙しい時間の中で、子どもたちの登下校の見守り、「保護者パトロール」にご協力いただきましてありがとうございました。ご報告いただきました内容につきましては、学年集会や各学級において指導や称賛に活用しております。子どもたちが安全に、且つ礼儀正しく公共の場や乗り物を使い、気持ちよく通学できるよう、今後も学校とご家庭とで協力していきたいと思っております。何卒よろしくお願いたします。



夏休みに頑張ってみよう！



長い夏休みが始まります。夏休みは学習面でも大きく成長できるチャンスです！各教科の先生のアドバイスを実践し、2学期の学習につなげましょう。

国語科

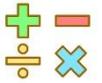


正しく読む・正しく聞く力を養おう。

夏休みには、苦手な漢字や長文読解ができるよう復習をするという声をよく聞きます。もし良ければ、それに加えてテストやプリントをゆっくり見返し、「間違えの傾向分析と課題見つけ」を親子で取り組むのはいかがでしょうか。テストやプリントに誤答があれば、それは自分の課題を見つけ成長する材料になります。例えば、長文の問題で指定された答え方をしていなかったり選択する記号の数が違ったり、題意と解答がずれて記述しているなど、読解問題が苦手といっても間違えの傾向から見える課題によっては気をつけるポイントが違ってきます。

自分の課題がわかると、課題解決のために具体的な対策ができるので、より効果的な復習になるかと思えます。ぜひ、取り組んでみてください！

算数科



自分の弱点に辛抱強く向き合うことが
苦手克服に繋がります。

自分の弱点にじっくり向き合う時間として夏休みは絶好の機会です。大切なことは、苦手を克服するために何をすべきか、その方法を自分で探ることです。

わり算を例に考えてみましょう。『 $82 \div 17$ 』一見、単純なこの計算を正解するにはいくつかの重要ポイントがあります。はじめに商の見当をつけること、次に2桁×1桁のかけ算、最後に2桁-2桁の引き算。どこでつまづいているのか、その見極めが重要です。辛抱強く立ち向かえば、必ず結果はついてきます。

未来の自分を信じて、前向きに取り組みましょう。

理科

「発見」を文章・絵・数字などを使って
表現してみよう！

子どもは先入観にとらわれず、素朴な疑問をもって新しいものを発見する天才です。しかし、その発見を表現することはできているのでしょうか。

理科で学ぶ知識は文章、絵、数字、表やグラフといった様々な方法を使って表現することができます。そのため、理科の勉強にはこの表現する力を身につけることがとても重要です。

夏休みでは自由研究や絵、作文といった作品づくりを通じて、様々な方法を使って表現する経験を積んでいきましょう。



社会科



知らない言葉を調べよう！

ニュース番組もチェック。

社会の学習ではたくさんの、『言葉』が出てきます。その言葉の意味、他の人に説明できますか？意外と、『人に説明する』って難しいことですよ。分からない言葉がある場合は、辞書や教科書、問題集で調べてノートにまとめてみましょう。

さらに、テレビのニュース番組を見ることをおすすめします。気になった『地名』を地図帳で調べてみたり、昔のことに疑問を持ってみたりと、私たちの身の回りに『社会』に関係することはたくさんあるのです。ぜひ、楽しんで社会科の学習を行ってくださいね！

5年生着衣泳

7月11日(木)に5年生は着衣泳を実施しました。着衣を身に着けたまま水に浮き、浮きながら移動する方法を学びます。あやまって水に落ち、溺れてしまう事故の多くは衣服を着ている状態で起きることが多いからです。ペットボトルやライフジャケットに備わっている浮力の助けを借りながら、水中で浮く方法を実践で体験しました。

子ども達は「衣服を着ていると動きにくい。」「浮かない。」「うまく泳げない。」「あ、うまく浮けた。」など実体験から感じたことを話していました。

あつては困りますが、万が一に備えて自分の身は自分で守らなければならないという気持ちが高まった着衣泳となりました。



～お願い～

車での送迎は、怪我等により、学校が認めた場合を除き禁止とさせていただいており、公共交通機関を利用したの登下校をお願いしております。

その後多くの保護者の皆様にご理解をいただき、車での送迎は激減いただきましたが、未だ一部送迎が行われております。駐停車禁止場所への違法駐車、また、駐停車可能な道路でも一定時間以上駐停車しているなど、近隣の方からの苦情も入っている状況です。保護者のみなさまには、今一度主旨ご理解の上、ルール遵守にご協力を賜りたく、強くお願い申し上げます。

